

塾生の皆様へ

年末・年始にはこれぞという本を一冊、じっくりと読み込もう

開倫塾

塾長 林明夫

1. はじめに

年末・年始は一年を振り返り、自分自身の行いを省察すると同時に、新しい年に向けての決意を固めるのに絶好の時期です。特に受験生の皆様は、入試を直前に控えて今までのことを「省察」した上で、「決意」を新たに新年をスタートさせてください。

2. 年末・年始の「省察」と「決意」に最も役立つのが「古典との時空を超えた対話(ダイアログ)」です。今までに十分読み込めなかったこれぞという「古典」(古典とは長い間読み継がれた本のことです)をじっくりと、腰を落ち着けて、一語一語かみしめるように読み、「対話(ダイアログ)」をすることをお勧めします。

3. 「古典」など古くさいもので、それを読むことなど何の意味もないと初めから決めつけしないで、これぞという本を一冊手に取って、まずは最初の1ページをゆっくりと丁寧に、できれば小さな声を出して読んでみてください。

4. ゆっくりと読めば読むほど、例えば人々から古典と呼ばれる「小説」であるならば、一枚の絵となって情景が思い浮かび、読み進めるうちにその絵が動き出していきます。

5. 私は正岡子規の俳句が好きですが、じっくりと読めば読むほど作品が絵のように見えてきます。

6. 「エッセイ」や「論説」などで古典と呼ばれる作品は、読んでいるうちに著者が「これにはこういう考えもあるのだよ」と語りかけてきます。

7. 一冊で O.K. ですから、年末・年始に「古典」と親しみながら、これまでの一年を振り返り、「省察」して、新しい年に向けての「決意」を固めてくださいね。

よいお年をお迎えください。

